

IP 盗難

- **IP** 盗難の概要 (1 ページ)
- IP 盗難の設定 (2ページ)
- IP 盗難除外タイマーの設定 (2ページ)
- 有線ホストの静的エントリの追加 (3ページ)
- IP 盗難設定の確認 (3ページ)

IP 盗難の概要

IP 盗難機能は、すでに別のデバイスに割り当てられている IP アドレスが使用されないように します。2 つのワイヤレス クライアントが同じ IP アドレスを使用していることがコントロー ラによって検出された場合、コントローラは、優先順位が低い方のクライアントを IP 盗難者 であると宣言し、他方のクライアントが継続できるようにします。ブラックリストが有効に なっている場合は、そのクライアントが除外リストに登録され、追放されます。

コントローラでは、IP 盗難機能がデフォルトで有効になっています。クライアント(データ ベース内の新規および既存のクライアント)の優先順位レベルも IP 盗難の報告に使用されま す。優先順位レベルは、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) 、Address Resolution Protocol (ARP)、データ収集(クライアントがどの IP アドレスを使用しているかを示す IP データパ ケットを調べる)などの学習タイプまたは学習ソースです。有線クライアントは、常に他より も高い優先順位レベルになります。ワイヤレス クライアントが有線 IP の盗難を試みると、そ のクライアントは盗難者であると宣言されます。

IPv4 クライアントの優先順位は次のとおりです。

- 1. DHCPv4
- **2.** ARP
- 3. データパケット

IPv6 クライアントの優先順位は次のとおりです。

- 1. DHCPv6
- 2. NDP

3. データパケット

》 (注)

静的な有線クライアントは、DHCP よりも優先順位が高くなります。

IP 盗難の設定

IP 盗難機能を設定するには、次の手順に従います。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション
	例:	モードを開始します。
	Device# configure terminal	
ステップ2	wireless wps client-exclusion ip-theft	クライアント除外ポリシーを設定しま
	例:	す。
	Device(config)# wireless wps client-exclusion ip-theft	

IP 盗難除外タイマーの設定

IP 盗難除外タイマーを設定するには、次の手順に従います。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal 例: Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ2	wireless profile policy profile-policy 例: Device(config)# wireless profile policy default-policy-profile	WLAN ポリシー プロファイルを設定 し、ワイヤレス ポリシー コンフィギュ レーション モードを開始します。
ステップ3	exclusionlist timeout <i>time-in-seconds</i> 例: Device(config-wireless-policy)# exclusionlist timeout 5	タイムアウトを秒単位で指定します。有 効な範囲は0~2147483647です。タイ ムアウトなしの場合は0を入力します。

有線ホストの静的エントリの追加

静的な有線バインディングを作成するには、次の手順に従います。



(注)

静的な有線バインディングとローカルに設定された SVIIP アドレスは、DHCP よりも優先順位 が高くなります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	configure terminal 例: Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
 ステップ2	1番目のオプションを使用して IPv4 ス タティックエントリを設定するか、2番 目のオプションを使用して IPv6 スタ ティック エントリを作成します。	IPv4またはIPv6スタティックエントリを設定します。
	 device-tracking binding vlan vlan-id ipv4-address interface gigabitEthernetge-intf-num hardware-or-mac-address device-tracking binding vlan vlan-id ipv6-address interface gigabitEthernetge-intf-num hardware-or-mac-address 	
	例: Device(config)# device-tracking binding vlan 20 20.20.20.5 interface gigabitEthernet 1 0000.1111.2222	
	例: Device(config)# device-tracking binding vlan 20 2200:20:20::6 interface gigabitEthernet 1 0000.444.3333	

IP 盗難設定の確認

IP 盗難機能が有効になっているかどうかを確認するには、次のコマンドを使用します。

Device# show wireless wps summary

Client Exclusion Policy

Excessive 802.11-association failures Excessive 802.11-authentication failure Excessive 802.1x-authentication	: es: :	Enabled Enabled Enabled
IP-theft	:	Enabled
Excessive Web authentication failure	:	Enabled
Cids Shun failure	:	Enabled
Misconfiguration failure	:	Enabled
Failed Qos Policy	:	Enabled
Failed Epm	:	Enabled

IP 盗難機能に関するその他の詳細を表示するには、次のコマンドを使用します。

Device# show wireless client summary

Number of Local Clients: 1

MAC Address	AP Name	WLAN	State	Protocol	Method	Role
000b.bbb1.0001	SimAP-1	2	Run	11a	None	Local

Number of Excluded Clients: 1

MAC Address	AP Name	WLAN	State	Protocol	Method
10da.4320.cce9	charlie2	2	Excluded	11ac	None

Device# show wireless device-tracking database ip

IP	VLAN	STATE	DISCOVERY	MAC
20.20.20.2	20	Reachable	Local	001e.14cc.cbff
20.20.20.6	20	Reachable	IPv4 DHCP	000b.bbb1.0001

Device# show wireless exclusionlist

Excluded Clients

MAC	Address	Description	Exc	lusion R	leason	Time	Remaining
10da	a.4320.cce9		IP a	address	theft		59

Device# show wireless exclusionlist client mac 12da.4820.cce9 detail

Client State : Excluded Client MAC Address : 12da.4820.cce9 Client IPv4 Address: 20.20.20.6 Client IPv6 Address: N/A Client Username: N/A **Exclusion Reason : IP address theft** Authentication Method : None Protocol: 802.11ac AP MAC Address : 58ac.780e.08f0 AP Name: charlie2 AP slot : 1 Wireless LAN Id : 2 Wireless LAN Name: mhe-ewlc VLAN Id : 20

I

6